

仏教保育

3
Mar.

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ^{ほとけ} の心

養成機関連絡協議会

テーマ 「保育新制度と仏教保育」

平成 27 年 2 月 23 日 / 芝パークホテル

限られた時間を有効に活用するため事前に就職状況および取り組みについてのアンケートと、新制度への対応についての質問事項（資格・実習・就職等への対応）を養成校にお送りし、回答を頂きました（新制度に関するアンケートは加盟養成校30校中、回答26校、未回答4校）。それらのアンケートの集計資料を参考にしながら協議は進められました。

養成校側から8校・9名の先生が参加。日仏保側は10名、オプザーバーとして佐藤達全先生（育英短期大学教授）が参加されました（養成校の参加者のご芳名は別掲）。

緑合理事長



高輪常任理事



はじめに、緑谷一雄理事長から、「いよいよ4月から新制度がスタートすることになりま

す。各園の取り組みも様々のようですが、養成校の先生方の対応もいろいろご苦労がおりだと拝察しております。昨年暮れの新聞に、私どもの仲間でもあります埼玉県の若盛先生が会長

している全国こども園協会の記事がございました。『認定こども園21園が返上』という見出し

でした。約1300園の加盟園のうち認定こども園は366園にアンケートしたところ、21園が『返上したい』という回答があ

ったそうです。その21園のうち16園が、新制度が施行されれば幼稚園と保育所に分離して運営していく。幼稚園だけを運営する3園、保育所だけが2園。

この傾向はまだまだ続くようだという内容でした。私は千葉県

の人口50万人ほどの市川市で幼稚園を運営しています。36園の私立幼稚園がありますが、園長

会などでも認定こども園への移行には一抹の不安を感じている

以下、その要旨を報告します。

京都の私立幼稚園には認定こども園へ移行する園は皆無である。京都の私学助成は充実されていて、公定価格を試算しても移る必要は全くないというのが理由である。ただ、公立幼稚園の場合は移行するであろうと見られている。また、宗教学法人立園の中から認定こども園への移行があるかも知れないという状況は考えられる。京都の勢力分

布から見れば私立幼稚園は従来の組織のままで活動を進めていくが、保育園については従来の保育園と認定こども園と分かれていくと思われるので、力は分散されるのではないかとこの問題はあります。保育園と認定こども園の組織を一本化できないかという話も聞こえている。

そういう流れの中で養成校の形をどう整えていくか。現状ではカリキュラム的に殆ど変わりはないのでこのまま進める方向だが、一方では保育教諭の力もキープを考えているグループもあり、それがどう変わっていくのかを見極めてから判断したいと考えている。

現状では、保育士・幼稚園教諭の両方の免許を取得するものは何れの選択もできるので、大きな影響はないと思われる。ただし実習については、文部科学省は幼稚園を、厚生労働省は保育所を、それぞれが実習を認めているので、養成校としてはどうするか。単純に言えば、一つの園で二つの実習が認められるのかどうかである。両方の実習を認めるとはいうものの、同じ施設では難しい状況にあるとすれば、例えば、東京で認定こども園の実習を受け、京都で幼稚園の実習を受けるという指導を

するしかない。そうした実習への判断が、われわれサイドにおける今後の課題であると思っ

ている。滋賀県長浜エリアではほとんどが認定こども園である。つまり、実習する施設は認定こども園以外にはない。教育実習であるにもかかわらず乳児が入るというケースも出ている。園も混乱するし、実習生としてはどう対処して良いか分からなくなってしまう、というのが現状。

兵庫では、大規模園の幼稚園は認定こども園への移行はしないと聞いている。将来的にはどうなるか分からないが、保育園は認定こども園に移行する方向に動いていると聞いている。きちんと状況が把握できた時点で報告したい。

東京全体は把握していないが、本学では保育教諭の資格に対応するような動きはない。就職担当としては、両方の資格を取得するよう指導している。就職に関しては、幼稚園15%、保育所52.5%、認定こども園2%という状況である。就職先については大半の養成機関が同傾向にあると聞いている。自分も東京全体は把握できていない。稲城市では1園の幼稚園が認定こども園に移行した。

学内の対応としては特に変わらず。資格取得については保育資格、幼稚園教諭免許の両方の取得を奨励している。保育教員については、これからの課題として取り組んでいくところである。

新制度が動き出してからでないと分からない点が多く、取り敢えず、両方の資格の取得を奨めている状況である。本学では歴史的に福祉を重視した指導を行ってきたが、保育士養成が主となっていたが、「こども学科」を新設し、幼稚園教諭特例講座を開校（土曜のみ）し、両方の資格取得を目指す特例講座も設置するなど、今後には備えたワーキンググループなど作って協議を進めているところである。

保育の内容、あるいは保育者の質、これらを向上させること。仏教保育を学ぶ学生たちに、養成校としてはきつちりと提示し、伝えていかなければならぬと実感している。そうすることで仏教園との連携も一層深まり、「あの学校から採用したい」との声も高まることになるだろう。養成校として急務の課題であると思っている。

疑が交わされました。

埼玉では、移行については8割方の施設が様子見でいるという状況。群馬では、仏教系の幼稚園・保育所からの移行について情報はないという報告も出されました。また、仏教保育の仲間として、幼児教育の中に保育の要素をどれくらい内在化し表面化するものなのか、その辺りも養成校の特色として位置付けして頂ければ有り難いなどの要請が出されるなど、有意義な協議が展開されました。

協議会終了後は懇親会に会場を移し、ここでも新制度への対応など活発な意見が交わされながらも、和やかに懇親を深めていきました。

懇親会



養成機関出席者名簿 (敬称略)

学校名	氏名	役職
聖徳大学短期大学部	藤井 邦典	キャリア支援室主査
駒沢女子短期大学	岡本 啓宏	専任講師
淑徳大学短期大学部	佐藤 純子	准教授
こども教育宝仙大学	岩川 眞紀	教授
鶴見大学短期大学部	上田 衛	保育科長・教授
鶴見大学短期大学部	佐々木健瑛	キャリア支援課長
大谷大学短期大学部	富岡 量秀	幼児教育保育科准教授
京都文教短期大学	安藤 和彦	教授
兵庫大学短期大学部	藤井恵美子	こども福祉学科准教授

「関西地区連絡協議会」報告

副理事長 日野昭文（松尾幼稚園・京都）

平成27年2月5日/ホテルグランヴィア京都

関西地区連絡協議会は、1月の理事会並びに運営審議委員会の結果を、関西地区の各宗ご本山にお伝えするために、毎年2月の下旬に京都で開催されています。

緑谷理事長から第33回仏教保育京都大会について謝意をこめた挨拶がありました。さらに、最近、保育園や幼稚園が地域の迷惑施設と言われたり、風鈴の

音色でさえ騒音扱いされる風潮に対し、私たち日仏保は幼児の保育環境をしっかりと守っていく必要があると提言がありました。続いて事務局長、各担当常任理事から26年度補正予算、27年度事業計画ならびに予算についてそれぞれ報告があり、参加者のご了承をいただきました。

京都支部から、京都大会に対して

その後、各宗ご本山ご来賓より、それぞれ各宗派において実施中の法要、記念法会を通して幼少青年育成の事業の取り組みのご紹介をいただき、日仏保の仏教保育推進への激励をいただきました。



ご存知でしたか？ 嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく、ウイルス・細菌を含む場合があります。処理する際は…
迅速かつ安全に行う必要があります。

△ 感染症対策では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか？ 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全に 清潔に 嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤
楽早く 快適に **オブツポイポイ**が **解決!**



高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!



セット価格 ¥1,080
消費税別 ¥1,080
11袋(100g)×9
高品質二酸化塩素により、ウイルス・細菌を瞬時に殺菌し、消臭も同時に!

お問い合わせ先 株式会社 共生 東京都立川市本町2-13-18 Tel: 03-3855-0181
www.kaijizai.co.jp (印刷販売)



すべては、子どもたちのために
地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 **ジャクエツ**
www.jakuetsu.co.jp



平成27年度 収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	合 計
	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	0	0	0
基本財産利息収入	0	0			0
特定資産運用益	385,000	385,000	0	0	385,000
特定資産利息収入	385,000	385,000			385,000
受取入会金	10,000	10,000	0	0	10,000
入会金収入	10,000	10,000			10,000
受取会費	12,650,000	12,650,000	12,650,000	0	25,300,000
会費収入	12,650,000	12,650,000	12,650,000		25,300,000
事業収益	23,340,000	23,340,000	0	0	23,340,000
出版収入	14,010,000	14,010,000			14,010,000
刊行物監修収入	2,230,000	2,230,000			2,230,000
受講料収入	1,600,000	1,600,000			1,600,000
生命尊重募金収入	4,500,000	4,500,000			4,500,000
義援金収入	1,000,000	1,000,000			1,000,000
受取補助金等	4,000,000	4,000,000	0	0	4,000,000
助成金収入	4,000,000	4,000,000			4,000,000
受取負担金	0	0	0	0	0
中科目別記載		0			0
受取寄付金	550,000	550,000	0	0	550,000
寄付金収入	550,000	550,000			550,000
雑収益	6,005,000	6,005,000	1,600,000	0	7,605,000
運用利息収入	5,000	5,000			5,000
協賛金収入	1,000,000	1,000,000			1,000,000
広告収入	5,000,000	5,000,000			5,000,000
その他の雑収入	0	0	1,600,000		1,600,000
経常収益計	46,940,000	46,940,000	14,250,000	0	61,190,000
(2) 経常費用					
事業費	56,572,000	56,572,000		0	56,572,000
給料手当	4,064,000	4,064,000			4,064,000
臨時雇賃金	0	0			0
退職給付費用	0	0			0
福利厚生費	0	0			0
旅費交通費	850,000	850,000			850,000
通信運搬費	100,000	100,000			100,000
減価償却費	0	0			0
消耗什器備品費	0	0			0
消耗品費	1,150,000	1,150,000			1,150,000
修繕費	0	0			0
印刷製本費	29,550,000	29,550,000			29,550,000
燃料費		0			0
光熱水料費	520,000	520,000			520,000



科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	合 計
	公 1	小計			
賃借料	2,208,000	2,208,000			2,208,000
保険料	0	0			0
諸会費	600,000	600,000			600,000
会議費	600,000	600,000			600,000
諸謝金	1,350,000	1,350,000			1,350,000
租税公課		0			0
支払負担金		0			0
支払助成金	12,000,000	12,000,000			12,000,000
支払寄付金	1,000,000	1,000,000			1,000,000
委託費	2,580,000	2,580,000			2,580,000
有価証券運用損	0	0			0
雑費	0	0			0
管理費			10,168,000	0	10,168,000
役員報酬			0		0
給料手当			1,016,000		1,016,000
退職給付費用			0		0
福利厚生費			0		0
会議費			3,250,000		3,250,000
旅費交通費			1,920,000		1,920,000
通信運搬費			1,500,000		1,500,000
減価償却費			0		0
消耗什器備品費			100,000		100,000
消耗品費			200,000		200,000
修繕費			0		0
印刷製本費			600,000		600,000
委託費			500,000		500,000
光熱水料費			130,000		130,000
賃借料			552,000		552,000
保険料			0		0
諸謝金			400,000		400,000
租税公課			0		0
支払負担金			0		0
支払寄付金			0		0
支払利息			0		0
有価証券運用損			0		0
雑費			0		0
經常費用計	56,572,000	56,572,000	10,168,000	0	66,740,000
当期經常増減額	△9,632,000	△9,632,000	4,082,000	0	△5,550,000
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
中科目別記載		0			0
經常外費用計	0	0	0	0	0
(2) 經常外費用					
中科目別記載		0			0
經常外費用計	0	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額		0			0
当期一般正味財産増減額	△9,632,000	△9,632,000	4,082,000	0	△5,550,000



平成27年度 収支予算書説明資料

平成27年4月1日～平成28年3月31日

I、収入の部

単位:円

大科目	中科目	小科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備考	
基本財産運用収入	基本財産利息収入		385,000	385,000	0		
		社団基金利息収入	200,000	200,000	0	元金45,355,000円	
		菩提樹学園利息収	180,000	180,000	0	元金32,100,000円	
		持田基金利息収入	1,000	1,000	0	元金800,000円	
		古屋基金利息収入	4,000	4,000	0	元金5,400,000円	
入会金収入	入会金収入	入会金収入	10,000	10,000	0	2園	
会費収入	会費収入	会費収入	25,300,000	25,300,000	0	23,000×1,100施設	
事業収入	出版収入		14,010,000	14,010,000	0		
		こどものくに収入	1,530,000	1,530,000	0	51,000×2.50×12	
		ほとけの子収入	5,280,000	5,280,000	0	40,000×11×12	
		仏教保育カリキュラム	7,200,000	7,200,000	0	購読料 1200部	
	刊行物監修		2,230,000	2,230,000	0		
		こどものくに編集	280,000	280,000	0		
		出席カード印税	350,000	350,000	0	ルーペ・仏保版出席カード	
		保育教材ロイヤリティー	1,600,000	1,600,000	0	夏の絵本、合掌人形 上製本等	
		その他編監修料	0	0	0		
	受講料収入	中央講習会受講料	1,600,000	2,000,000	△400,000	例年の参加者約160名ほど	
	社会貢献・国際交流	(生命尊重)	生命尊重募金	4,500,000	4,000,000	500,000	
			義援金	1,000,000	1,000,000	0	
	補助金収入	助成金収入	年度・制度対策助成金	4,000,000	4,000,000	0	宗派・本山よりの助成金
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版25 保育教材6社30	
雑収入	雑収入		7,605,000	7,605,000	0		
		運用利息収入	5,000	5,000	0		
		協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛金	
		広告収入	5,000,000	5,000,000	0	仏カリ他広告収入	
		その他の雑収入	1,600,000	1,600,000	0	5月・1月懇親会費 関西地区連絡協議会懇親会費 養成機関連絡協議会懇親会費	
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	0	0		
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	104,200,000	108,423,488	△4,223,488		
		合計	165,390,000	169,513,488	△4,123,488		

II、支出の部

大科目	中科目	小科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備考	船替後対応科目	
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇		
		調査研究費	研究運営費	200,000	200,000	0		印刷製本費
	教育研究奨励費			200,000	650,000	△450,000		
		教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助	支払助成金	
		古屋・持田賞	0	200,000	△200,000	全国大会非開催年	支払助成金	
		仏教保育功労賞	50,000	50,000	0	賞状、記念品	消耗品費	
		研究発表指定園	0	200,000	△200,000	全国大会非開催年	支払助成金	
		仏教保育精励賞	0	50,000	△50,000	全国大会非開催年	消耗品費	
	菩提樹学園充実			800,000	800,000	0		
		学園視察派遣旅費	600,000	600,000	0	旅費補助	旅費交通費	
		同上資料代	200,000	200,000	0	学園おみやげ	消耗品費	
	大会講習会開催費			7,300,000	7,300,000	0		
		全国大会開催費	3,800,000	3,800,000	0	全国大会非開催年 (全国大会開催地へ 350万・2年で700万)	支払助成金	
		講習会開催費	2,050,000	2,050,000	0	関西地区研修会 夏期講習会 夏期講習会案内印刷	支部助成金130 諸謝金70 印刷製本費5	
		仏教保育研修会費	450,000	450,000	0	理事評議員会同時開催 講師料・案内印刷	諸謝金10 印刷製本費20	
		支部講習会補助	1,000,000	1,000,000	0	支部、ブロックで行 う講習会補助		



大科目	中科目	小科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備考	組替後対応科目	
事業費	刊行・出版費		27,500,000	27,500,000	0			
		仏教保育出版費	9,000,000	9,000,000	0	約75万×12	印刷製本費	
		ほとけの子出版費	1,500,000	1,500,000	0	原稿、制作費	印刷製本費	
		月刊仏力り費	17,000,000	17,000,000	0	製作、発送費	印刷製本費	
	各種委員会委託		1,180,000	1,180,000	0			
		仏力り編集委員会	200,000	200,000	0			委託費
		こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ		委託費
		ほとけの子編集委員会	400,000	400,000	0	委員会へ		委託費
		教材開発委員会	300,000	300,000	0	委員会へ		委託費
	助成金支出		4,300,000	4,300,000	0			
		支部助成金	2,500,000	2,500,000	0	支部へ会費10%還元		支払助成金
		菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ		支払助成金
	各種団体提携費		800,000	800,000	0			
		宗院保連、保育司林・ 関西地区連絡協議会						会議費45 旅費交通費25 支払助成金10
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		4,400,000	4,300,000	100,000			
		菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ		支払助成金
		義援金	1,000,000	1,000,000	0			支払寄付金
		印刷作成費	1,600,000	1,500,000	100,000			印刷製本費
		募金経費	800,000	800,000	0			消耗品費
	各種対策費		2,300,000	2,300,000	0			
		組織強化費	1,000,000	1,000,000	0	支部強化経費 支部事業助成		支払助成金
		制度対策費	1,000,000	1,000,000	0	懇話会、顧問弁護士		諸謝金40諸会費60
	養成機関連絡費		300,000	300,000	0	養成機関連絡協議会		支払助成金15 会議費15
	事業雑費		1,100,000	1,200,000	△ 100,000			
ホームページ運営費		600,000	700,000	△ 100,000			委託費50通信費10	
事業雑費		500,000	500,000	0			郵費40消耗品費10	
名簿作成費		0	0	0				
管理費	会議運営費		5,050,000	5,050,000	0			
		理事運営審議委員会 開催費	2,800,000	2,800,000	0	2回開催交通費 1月新年懇親会	旅費交通費150 会議費130	
		総会運営費	1,500,000	1,500,000	0	総会及び5月懇親会 総会案内印刷	会議費120 印刷製本費30	
		支店会・参事会経費	500,000	500,000	0	将来検討委員会	会議費	
		事務局運営費	250,000	250,000	0		会議費	
	給料手当		5,080,000	4,940,000	140,000			
		給料・諸手当	3,800,000	3,700,000	100,000	給与+通勤交通費 非常勤分を省く		給料手当
		賞与	960,000	940,000	20,000	4ヶ月		給料手当
		所定福利費	320,000	300,000	20,000	健保、労働保険 年金掛金補助		給料手当
	役務費		3,620,000	3,620,000	0			
		旅費交通費	420,000	420,000	0	交通費		旅費交通費
		通信運搬費	1,500,000	1,500,000	0	郵券、電話等通信費		通信運搬費
		印刷製本費	300,000	300,000	0	封筒等印刷全般		印刷製本費
		什器備品費	100,000	100,000	0	事務所備品		消耗什器備品費
		消耗品費	200,000	200,000	0	文具等		消耗品費
		借料損料	600,000	600,000	0	事務機器リース ポスターニングコスト		賃借料
		租税公課	500,000	500,000	0	法人税等		租税公課
	事務所費		2,810,000	2,930,000	△ 120,000			
		賃借料	2,160,000	2,280,000	△ 120,000	事務所賃借料18万/月		賃借料
		光熱水費	650,000	650,000	0	光熱水費負担金		光熱水料費
	諸謝金	慶弔費	400,000	400,000	0			諸謝金
	事務雑費	管理雑費	500,000	500,000	0			委託費
	特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金	600,000	600,000	0		
	予備費	予備費	予備費	5,000,000	5,000,000	0		
	当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	93,050,000	96,743,488	△ 3,693,488		
			合計	165,390,000	169,513,488	△ 4,123,488		

第47回愛知県仏教保育絵画展

平成27年1月27日～2月1日/名古屋会場
平成27年2月19日～2月22日/三河会場

子どもの心がそのままに

日仏保事務局長
五島 満 (銀の鈴幼稚園・東京)

寒さの厳しい、1月27日～2月1日、2月19日から22日の二期に分けて、愛知県仏教保育協会(会長・三浦俊彦先生)による「仏教保育絵画展」が、名古屋市と豊川市の2会場で開催されました。

今回拝見したのは、名古屋会場。会場はテレビ塔のそびえるセントラルパーク近く、中区区役所・名古屋市民ギャラリー栄の第2、第3展示室。愛知県仏教保育協会加盟園の幼稚園、保育園に在籍する子どもたちの絵が二つの展示室いっぱいに表示されています。31日は名古屋会場で作品出品をした子どもたち全員に、出展に対する表彰が行われることもあり、会場には

溢れんばかりの家族連れが、絵画展にやってきました。

運営の先生方も当番で詰めていて、協会の皆様のこ苦労が思われます。

仏教保育絵画展だけあって、仏さま、お釈迦様、お寺の本堂などの絵がとて多く出展されていますが、他にも花、動物、お友だちなど、どれもクレパスや絵の具で一人ひとりの豊かでのびやかな表現が、一枚の絵となって見る者に力強く訴えかけてきました。住職である園長先生の法衣姿を描いている作品もあり、思わず笑みがこぼれます。表彰式で表彰状と記念品を受け取った子どもたちの表情は、どの子どもも笑顔で誇ら



しげです。

式では元祖父江町(そぶえちよう)教育長の橋本弘之先生による講評が行われ、先生は「展示された絵をすべて見ました。一枚一枚全部について、感想や講評を言いたいくらいです。」と前置きされ、「子どもの絵には子どもの心がそのまま表れ出ています。形にも線にも、子どもたちの心が込められています。どうかご家族で絵についてゆっくりお話をしてほしいです。」と語りかけ、大勢の保護者もその意味を噛み締めていたようです。

確かに、作品一枚一枚に込め



られた思いが、作品から力となって会場いっぱいに発せられる迫力に、息をのむほどの勢いを感じる事ができて熱い思いが込み上げてきました。幼稚園や保育園家庭が丸となって、子どもたち一人ひとりのいのちの表現を尊んであげられる環境を作っていききたいものです。



第30回 埼玉県佛教幼児画展

平成27年1月31日～2月1日
さいたま市文化センター

埼玉県佛教保育協会
会長 丹羽 義昭（あずま幼稚園）

埼玉県佛教保育協会では、毎年「埼玉県佛教幼児画展」を開催しています。開催の経緯は、昭和52年に全国佛教徒埼玉大会において記念事業として埼玉県佛教幼児画展を開催したのが第1回目になります。

次に昭和61年に日本仏教保育協会全国仏教保育埼玉大会にて埼玉県佛教幼児画展を開催しましたのが第2回になります。以後、毎年続けて開催するようになり、平成26年度で30回になりました。

子どものために主体的に開催することにより長年にわたって開催し続けることができました。作品のテーマも加盟園のほとけの子どもたちが描いた絵とされていますので、大変のびのびと描かれています。

今年度で30回を迎えたことから、平成27年1月31日（土）に、さいたま市文化センターにおいて、記念事業として第30回記念式典を開催して第20回からの参加園と協賛事業所へ感謝状を贈呈しました。

また、十文字学園女子大学教授・平田智久先生には「幼児に造形・今日的意義」と題して記念講演をいただき、再度、幼児画を理解して実践していくうえで大変勉強になりました。

合掌



事務局日誌

- 2 / 3 「ほとけの子」編集会議
- 2 / 5 「関西地区連絡協議会」ホテルグランヴィア京都
- 2 / 12 「仏カリ」「仏教保育」編集会議
- 事務局会議
- 2 / 17 「こどものくに」「たんぼぼ版」編集会議
- 2 / 23 「養成機関連絡協議会」芝パークホテル

「ひな祭り」の由来

3月3日は「ひなまつり」。子どもたちが折り紙で作った「おひなさま」を玄関に飾って祝う幼稚園や保育所も多いことでしょう。

「ひな祭り」は、女の子のための行事。女兒の初節句には「ひな人形」を飾って、その子の健やかな成長と幸せを願いながらお祝いをします。「ひな祭り」という行事は、被い人形に人の厄を移して水に流し清めるといって「流し雛」という民俗行事から発しています。

平安時代には、宮中で「紙の着せ替え人形」で遊ぶ「ひいな遊び」が行われていたようです。「ひいな」とは、小さくて可愛いという意味を持ちますが、その遊びから「人の厄を身代りする男女」に結び付いたのが「ひな人形」の原型と言われています。室町時代に入る頃からひな人形は立派になり、流すものから飾るものになり、嫁入り道具の一つになっていきます。江戸時代に「桃の節句」を女の子の節句に定められてから、その華やかさが増していったようです。

「桃の節句」にはもう一つの言われがあります。古くから桃には邪気を祓う力があるとされていて、様々な神事に用いられてきました。当時、邪気の特徴は「鬼」でした。この思想がベースになって生まれたのが、「桃太郎の鬼退治」の民話だとい説もあります。

因みに、ひな人形を片付けるのは「啓蟄」の3月6日頃が良いとされています。良い相手に恵まれるとか。もしかすれば、少子化を防ぐことになるかも。そんな願いもしてみたい3月3日です。

編集後記

3月は卒園の時期です。皆様の園でも、園児の送り出しに向けて締め括りの様々な行事を催されているかと存じます。最近、こんなことがありました。保護者会主催による、先生に感謝する集いの開催前、保護者リハーサルでの締め括りの挨拶で会長さんが、「本番では皆さんはお客様ではありませんよ。主役は先生と園児ですからね。」と、ユーモアを交えながら釘をさしておられました。たぶん、写真やビデオ撮影に熱中し過ぎたり、我が子だけに夢中になって、いざこざを起さないよう呼びかけたのだと思いますが、我々にとっても、耳の痛い話かもしれません。場面や場所を弁えることは、放っておいても自然に身につくものではないからです。一生懸命に行事に取り組む園児と、それを温かく見守る周りのみんなであって欲しいと思います。間もなく、子ども・子育て支援新制度がスタートします。紆余曲折を経ての実施で、各園でも対応に苦慮されていると存じます。一方、実施する側の自治体でも、様々な準備や対応に追われていると見聞きします。幼稚園・保育園それぞれの立場から、この制度が円滑に運営されるよう、更なる改善がなされることを願ってやみません。(小林)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさとり(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版